

請 願 書

令和5(2023)年12月5日

郡山市議会議長
佐藤政喜様

郡山市小原田二丁目23-15
郡山年金者の会
会 表 小 沼 利 正

紹介議員 古 山 唯
吉 田 公 男
遠 藤 隆

マイナンバーカードと健康保険証の一体化は取りやめ現行の健康保険証を存続させるよう求める意見書提出の請願

〔請願趣旨〕

政府は2021年10月より、マイナンバーカードと健康保険証を紐づけて使用できるようにしました。さらに2023年6月には、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナ保険証に一本化するマイナンバー改正法案が可決成立しました。

しかし、誤登録や情報漏洩、窓口で「資格無効」と表示され10割自己負担させられる等、マイナ保険証での受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民に不安を抱かせています。

また利用者数も少なく、利用率も減少傾向にあります。そもそも、マイナンバーカードを持つか持たないかは、国民の自由だと法律で定められています。それを、国民皆保険の日本で健康保険証と紐づけることは、事実上マイナンバーカードの取得を強制することになり、問題です。

健康保険証が廃止されれば、マイナ保険証を持たない人は公的医療から遠ざけられることにもなりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民の命と健康が脅かされます。

国民も、患者も、医療機関も望んでいないマイナンバーカードとの一体化はただちに止めて、現行の健康保険証を残してください。

つきましては、以下の事項について、地方自治法第99条の規定により、国に対して、意見書を提出されるようお願いいたします。

[請願事項]

健康保険証のマイナンバーカードとの一体化は取りやめ、現行の健康保険証を存続させるよう国に要請すること。

請 願 書

令和5(2023)年12月5日

郡山市議会議長
佐藤政喜様

郡山市朝日一丁目10-11
郡山五中OBOG有志の会
代 表 増 子 英 一

紹介議員 古 山 唯
吉 田 公 男
箭 内 好 彦
遠 藤 隆

「高齢者無料乗車証交付」の請願

〔請願趣旨〕

ますます進んでいる高齢者社会において、高齢者の自動車運転による事故が後をたちません。福島県警察本部によりますと、2019年から2023年10月までに、ブレーキとアクセルの踏み間違いが原因で死者や重傷者が出た事故は26件ありました。そのうち8割以上の21件が「65歳以上の高齢ドライバー」でした。去年福島市で97歳のドライバーが暴走した事故では、5人が死傷しています。そのような状況の中でも、運転免許の返納が進んでいるとは言えません。背景にあるのは「免許返納後の生活への不安」です。現在の車社会では、免許を返納すると、生活の足がなくなってしまうと心配する人が多数と思われます。

これに対し各市町村でも高齢者、免許返納に対し様々な支援をしています。福島市では、高齢者の積極的な社会参加支援と公共交通の利用促進を図るため、75歳以上のかた（市民と広域避難者）を対象に、高齢者無料乗車証「ももりんシルバーパスポート」を交付して、市内路線バスと福島交通飯坂線の運賃無料化を実施しています。郡山市はどうでしょう。免許返納者に対して、ひとり一回限りで5,000円のバス・タクシー利用券を出して終わりです。あまりにもお粗末な支援ではありませんか。県内の市町村でも最低のレベルです。高齢者の運転事故は、行政の支援にも

関係があると思います。免許証の返納あるなしに関わらず、高齢者の足を確保するために、「高齢者無料乗車証」の交付を切に望みます。高齢者が外出しやすい環境を整え、社会参加を促すことで、かなりメリットは大きいのではないのでしょうか。福島市に出来て、郡山市に出来ないわけはありません。

つきましては、以下の事項についてお願いいたします。

[請願事項]

高齢者に対し、「高齢者無料乗車証」の交付を実施すること。